

遅ればせながら！百歳超え老人問題？

住民基本台帳登録制の問題なのか、それとも、「無縁社会」問題か？

「登録」でなく、生活実態に合わせると超管理社会になる???

わかりきったことが、なぜ、問題とされたか・・・

ちよつと前まで、百歳を超える高齢者の所在不明が、新聞・テレビなど賑やかに報道されていました。

日本最高年齢者が、住民基本台帳上だけの存在で、

実際には30年も前に死んでいたことが明るみに出て、

類似の事例が日本各地にあることが確認され、「なぜそ

んなことがおこるの？」国を挙げて、目が点になる驚きぶり。

「老人大国＝高品質の福祉国家」のイメージ丸潰れ

となりました。

でも、それは表向きで、本当は多くの人が「嘘」に気

づいていたのではないのでしょうか。ある自治体では、

その自治体内での住民基本台帳上の最高年齢者につ

いて生存確認に自信が持てず、厚生労働省への報告で

は、その人でなく2番目の高齢者を報告していたそう

です。

昨年、日本国中で住民基本台帳や外国人登録に基づ

いて定額給付金が支給されましたが、大阪市では、発

送した申請書の内1.3%（18,110通）が届き

ませんでした。所在不明というわけです。

それから考えると、日本国内に百歳を超える高齢者が3万人いるとして、300人は所在不明になつても不思議ではありません。

なぜそんなことがおこるのかというと、釜ではよく聞

く話ばかりです。

一つは、住民票の置きっぱなし。建物すらなくなつ

ているのを知りながら、役所が住民票を消していなかつたというのもあるそうです。

一つは、行方不明になって久しいのに、家族が不憫が

って失踪宣告もせず、住民票を生かしていたもの。

一つは、死んでいるのに家族が届け出を出さなかった

もの。これは、年金目当てが多いようです。

一つは、単身独居で死亡後日数が経って発見され、住

んでいるとされる名義人と発見された人が同一人であ

ると断定できないために、身元不明の死亡人となる場

合。日本全国で、身元不明の死亡人は毎年、千人を超え

てあるそうですが、最近では、この種の部屋の中で発見さ

れる身元不明の死亡人が増えているそうです。

いま がつ にちごぜん ひとり め まえ たてもの けいさつしゃ
今も（8月9日午前）、一人、目の前の建物から警察車
りょう はこ
両で運ばれていきますが、その人の身元はどうなのでしょう
ようか。 からだ し じゅうみんひょう ひやくさい
ようか。 体は死んで、住民票だけ百歳まで生き続ける
じれい ひと
事例の一つとなるのでしょうか。
せいし かくにん いどう かくにん はなし いちばんかくじつ
生死の確認、移動の確認だけの話でいえば、一番確実
かくこじん しきべつ
なのは、各個人に識別マイクロチップを埋め込むか、バ
ーコードを入れ墨するかですが、そうなると超管理社会
になりそうです。 問題は、何のために、必要か、です。
さて、今回の話が騒ぎとなったのは、世間の常識が
揺らいだせいだと思われます。「百歳を超える長寿に恵
まれる幸運な人は、安定した老後を送る幸せな人だ、自
分もその一人になりたい」と思っていたのに、実態は60
歳や7歳で行方不明になり、路上ですでに死んでいた、
これでは、人生、お先真つ暗、めざす目標が無くなりま
す。 問題なのは、住民基本台帳と実態とのズレではな
く、ズレてる人達が、社会的に不遇な状態に放置されが
ちなことです。
60歳や7歳で行方不明になっても、どこかで無事生
きていると見込める社会、定額給付金の申請書が届かな
かった人が、路上や公園をさまよっていると想定されな
い社会。それをめざして、まずあなたが、生保活用を。

せいかつ ほ ご む さ べつびようどう こんきゅう じじつ もと だれ せいじゅうけん も がいこくじん ふく かつよう
生活保護は、無差別平等、困窮の事実に基づいて、誰でも（永住権を持つ外国人を含む）活用する
ことが出来ます。65歳以上でなければ、あるいは病気でなければ受けられない、というのはウソで
す。

おおさか しりつこうせいそうだんしょ し こうそう はんかいせん ひがしがわ こうしゅうべんじょよこ ひがし め こう きてん
大阪市立更生相談所（市更相）は、阪堺線の東側、公衆便所横のガードを東に抜けて、交差点を
わた たてもの
渡ったところにある建物です。

いりょう おおさかしゃかい いりょう ときはら さいそく な しゃくようしょ じゅしん いりょう
医療センター（大阪社会医療センター）は、「ある時払いの催促無し」、借用書で受診できる医療
きかん し こうそう にしなりろうどうふくし しんりょう いらいけん い ひつよう
機関です。市更相あるいは西成労働福祉センターで診療依頼券をもらってから行く必要があります。

いりょう たてものそと ひがしがわ い ぐち
医療センターは、センターの建物外の東側に入り口があります。

じじょ どりょくえんじょ て び しょ せいかつ ほ ご こわ むりょう う と ひと
「自助努力援助のための手引き書—生活保護は怖くない」（無料）をまだ受け取っていない人は、
こえ か て び しょ よ あと やくしょ ほ ごしんせい ふどうさんや
声を掛けてください。手引き書を読んだ後は、役所で保護申請、不動産屋へ。

きよしょ かく ほ ひと せいかつ ほ ごしんせい ご てつづ きかん
※ 居所（アパート・マンション）を確保できていない人については、生活保護申請後の手続きの期間
つうじょう しゅうかん せいかつ ほ ご しせつ たい き せいかつ ほ ごしんせい ご いち じしゅくはくていきょう
（通常2週間）、生活保護施設で待機することになりました。生活保護申請後に、一時宿泊提供を
う かく しせつしよくいん じよげん さんこう じゅうきよ さが さが かつ
受け、各施設職員の助言を参考に、住居を探してください。アパート・マンションの探し方につ
いては、各施設の職員が手伝ってくれることになりました。

さい さいだいぜんはん ひと じりつしえん かつよう みち ね ぼしょ しょく
20歳から50歳代前半くらいまでの人は、自立支援センターを活用する道もあります。寝場所・食
じ ていきょう しゅうしょくかつどう しえん しせつ りょう きかん げつ じじょう げつ にゅうしょき
事を提供し、就職活動を支援する施設です。利用期間は、3ヶ月、事情により6ヶ月です。入所希
ぼうしゃ おおさか しりつこうせいそうだんしょ し こうそう そうだん
望者は、大阪市立更生相談所（市更相）で相談を。